

平成27年度施策評価シート

<1.施策の概要>

施策 No.	1121	施策名	良好な景観と憩いの空間があるまち	主 担 当 課	都市計画課
大項目	安全で快適なまちづくり				
基本 方針	市街地に潤いを与える水と緑を保全活用し、ゆとりや快適性を備えた個性的な都市景観のあるまちを目指します。 丘陵地や海浜、島しょ部の自然環境を乱開発から守り、豊かな自然景観を保全します。 市民が身近で気軽に憩い、やすらげる公園・緑地の整備を計画的に進めるとともに、適切に維持管理します。 また、緑のある良好な環境にするため、緑化活動を進めます。そのことによって、憩いと潤いのあるまちを目指します。			関 係 課	農政水産課

<2.施策を構成する事務事業の概要>

1	景観の規制業務												
事務事業の目的							事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
市民		健全で均整のとれたまちづくりの誘導を図る。					・景観法の主旨を遵守し、健全なまちづくりを誘導する。 ・地方分権時代に対応した、地域の特性に適合した健全なまちづくりを誘導する。						
		平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
取組内容		●屋外広告物の許可 ・屋外広告物の規制・誘導 ・違反広告物のパトロール			⇒			⇒			⇒		
直接事業費		決算額	303	千円	決算額	252	千円	決算額	115	千円	決算額	192	千円
		うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円	うち一般財源	0	千円

2	公園管理業務												
事務事業の目的					事務事業の内容								
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
公園・緑地利用者		公園・緑地利用者の施設利用に関する利便性や満足度の向上を図る。			・公園・緑地施設の充実や適切な維持管理に努め、安心して快適な施設利用を推進する。 ・関係法手続の高度化処理により、利用者の利便性向上を図る。 ・関係情報の開示などにより、利用者の満足度の向上を図る。								
平成23年度		平成24年度			平成25年度			平成26年度					
取組内容	●小規模公園整備 ●公園の指定管理者 ●公園の里親制度 ●公園施設の改修及び機能の充実 ●公園施設の老朽化に伴う安全対策 ●緑と水の回廊づくり ●緑化の推進			⇒			⇒			⇒			
直接事業費	決算額	170,885	千円	決算額	164,972	千円	決算額	164,051	千円	決算額	169,285	千円	
	うち一般財源	156,379	千円	うち一般財源	159,495	千円	うち一般財源	158,959	千円	うち一般財源	166,592	千円	

3	街路樹管理業務												
事務事業の目的							事務事業の内容						
対象(誰を)		意図(どのようにしたいのか)											
道路利用者と周辺に居住する市民		道路利用者及び周辺住民の利便性や満足度の向上を図る。					・街路樹の適切な維持管理に努め、安心して快適なみどりのあるまちを推進するとともに、道路周辺の生活環境の向上を図る。 ・街路樹に関する苦情、要望に迅速に対応し、利用者のニーズを満たすことで満足度の向上を図る。						
	平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度			
取組内容	・街路樹の適切な維持管理			⇒			⇒			⇒			
直接事業費	決算額	13,370	千円	決算額	11,365	千円	決算額	11,975	千円	決算額	12,988	千円	
	うち一般財源	13,370	千円	うち一般財源	11,365	千円	うち一般財源	11,975	千円	うち一般財源	12,988	千円	

<3.施策の直接事業費(2の合計)>

	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
直接事業費	184,558	千円	176,589	千円	176,141	千円	182,465	千円
うち一般財源	169,749	千円	170,860	千円	170,934	千円	179,580	千円

<4.指標>

				目標・実績の推移					
指標名				H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H29目標
1	自然環境・景観の保護に満足している市民の割合(市民意識調査)	単位	目標				—	30.0	35.0
		%	実績	30.5	—	26.9	—	28.9	
			達成率					96.3%	
2	公園・緑地の整備状況に満足している市民の割合(市民意識調査)	単位	目標				—	48.5	50.0
		%	実績	49.5	—	44.5	—	47.1	
			達成率					97.1%	
3	市民1人当たりの公園面積	単位	目標				17.0	17	17.1
		m ²	実績	16.5	16.7	16.9	17.2	17.4	
			達成率				101.2%	101.8%	
4	市が管理している公園数	単位	目標				96	99	99
		箇所	実績	88	92	95	96	97	
			達成率				100.0%	98.0%	
5	里親制度で公園を管理している団体数	単位	目標				7	10	10
		団体	実績	8	8	7	7	7	
			達成率				100.0%	70.0%	

<5.前年度の委員コメントに対する対応・回答>

委員コメント	対応・回答
・空き町屋等の整備による景観の向上に基づく住みやすさも必要と考えられます。	→ 建築物の除却等も含めた適切な維持保全の措置をするように指導します。また、「笠岡市空き家等の適正管理に関する条例」を制定する予定といたしております。
・近年、樹木が倒れて住民がケガをしたというニュースを聞きました。十分な管理をお願いする。	→ 街路樹・公園の樹木については、定期的に管理を行い危険木については伐採等の対応をします。
・里親制度で公園管理している団体が減っているが、まちづくり協議会へ話をなげかけてはどうでしょうか。自分の周りでは自分達で美しく保つ意識が大切と思う。 ・公園の管理についてどの程度地域に移譲されているのかがよくわかりませんが、地域で出来ることは地域ですればいいと思います。まちづくり協議会などの活用をお願いします。	→ 主に地域以外からの利用者が多い大型公園の一部を、里親制度で管理していただいています。 地域にある公園管理については、町内会・まちづくり協議会で対応していただいています。

<6.平成26年度の振り返り>(担当部署自己評価)

施策の 進捗度	A: 施策を構成する事業が順調に進行している。 B: 施策を構成する事業がおおむね順調に進行している。 C: 施策を構成する事業が一部遅れている。 D: 施策を構成する事業がほとんど遅れている。	B
------------	--	----------

<7.施策の課題と改善案>

課題と 改善案	1 ・良好な景観を守るため、岡山県景観条例に沿って屋外広告物の規制、誘導を行う。 2 ・管理費の節減については、引き続き管理手法を研究する。 ・公園の里親制度を積極的にPRする。 3 ・街路樹の育成状況や季節に応じたの剪定、施肥、薬剤散布等を履行するため、点検の頻度を高める。
------------	---

<8.委員による評価結果>

総合 評価	A: 計画どおり進行している。 B: おおむね計画どおり進行している。 C: 計画より一部遅れている。 D: 計画より遅れている。	B	(参考) 昨年度の評価結果 (前期4年間の総合評価)	B
コメント	・公園の年代別利用者数とそれぞれの満足度調査をする必要があると考えられます。 ・街路樹に関する苦情(落ち葉の問題)を耳にすることがあります。対処法はあるのでしょうか。			